

# 食品領域の動物実験代替

## -現状と動向、未来に向けた取り組み-

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) は、「食品領域の動物実験代替推進プロジェクト(AATプロジェクト)」を立ち上げ、動物に依存しない、ヒトへの予測性のより高い評価アプローチを確立し、食品の安全性及び機能性評価の精緻化・効率化を進展させることを目的とし活動しています。これらの活動は栄養や食品安全にかかわる科学的課題の解決につながり、ひいては人の健康増進に寄与すると考えております。

この度、ILSI Japanは、食品領域における動物実験代替の現状認識と将来の研究の方向性についての情報共有、並びに動物を使用しない評価技術の必要性に対する意識向上を目的として、シンポジウムを開催いたします。当該シンポジウムでは、食品領域での動物実験代替の国際的な現状と動向についての情報共有と本邦での安全性及び機能性評価の代替技術に関する最新の研究動向について、アカデミアの先生よりご講演をいただくと共に、本プロジェクトの研究内容について紹介させていただき予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**2023年2月3日(金) 13:00~17:00** オンライン開催 (Zoom)

### Session 1: 食品領域における動物実験代替の現状と動向 (ILSI国際ワークショップの話題を中心に)

座長: 伊藤 勇一 (ILSI Japan)

演者: AATプロジェクトメンバー

- ◆ ILSI Japan食品領域の動物実験代替推進プロジェクト(AATプロジェクト): 活動紹介
- ◆ 食品行政・規制における動物実験代替の現状
- ◆ 食品領域における動物実験代替推進に向けて~国際ワークショップからの提言~

### Session 2: 動物実験代替の技術及び研究動向

座長: 中江 大 (帝京平成大学)

演者: 神崎 展 (東北大学)、松永 民秀 (名古屋市立大学)、吉成 浩一 (静岡県立大学)、AATプロジェクトメンバー

- ◆ 運動できる“培養”筋細胞系をもちいた基盤研究と新展開
- ◆ ヒトiPS細胞由来腸管細胞と生体模倣システムの開発
- ◆ インビトロおよびインシリコ手法による化学物質の安全性評価: 課題と展望
- ◆ 食品領域における動物実験代替推進に向けたリスク評価戦略構築の取り組み

### Session 3: まとめと今後の展望

伊藤 勇一 (ILSI Japan)

<申込方法> 下記URLまたはQRコードからアクセスして、事前に参加登録を行ってください。

<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/LEC/AAT/AAT2023.php>

<申込期間> 2022年11月15日(火) ~ 2023年2月2日(木) 昼 12:00 まで。

<参加費> 一般企業・個人・その他の方: 2,000円

(不課税) ILSI Japan会員の個人、企業(但し、AATプロジェクト参画企業を除く)の方: 1,000円

ILSI Japan AATプロジェクト参画企業の方: 無料

<主催> 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan)

<後援> 内閣府 食品安全委員会、(公社)日本農芸化学会

<協賛> 日本食品免疫学会、日本機能性食品医用学会、(一社)日本動物実験代替法学会、日本動物細胞工学会、(一社)日本薬物動態学会、(公社)日本栄養・食糧学会、(一社)日本組織培養学会、(一社)日本毒性病理学会

